【保存版】
No. 87
2024年（令和3年）
2月15日発行

熊　地　区
防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局

『車中泊について』

能登半島地震に伴って石川県が登録を受け付けたボランティアが1月27日、七尾市と志賀、穴水両町の3自治体でようやく活動を始めました。ボランティアの皆さんにお願いするばかりです。

自宅が住めなくなり、避難所もいっぱいとなりますと、知人や親せきの家に身を寄せることになります。実際問題として大変なことです。

平成28年に発生した熊本地震では、避難者の8割以上の人が避難所以外の避難しその半数は車中泊避難されたと報告されました。

さて刈谷危機管理課から「車中泊避難ガイドについて」のお知らせがあります。実は車中泊は、国や県からは推奨されていない避難方法です。

推奨されない要因

・同じ姿勢をとり続けることによるエコノミークラス症候群の危険性。
・点在する車中泊避難者一人ひとりの状態を把握することが難しい。
・正確な情報を届けることが難しい。

とは言え余震への不安、プライバシーの確保、乳幼児や障がい者との避難ペットとの同行避難などの理由で車中泊避難を選択する人が増えています。

車中泊ひなんで安全に過すために

①車内宿泊用のグッズを備えておく（寝袋、暑さ、寒さ対策など）
②体の曲げ伸ばしをこまめに行いエコノミー症候群にならないように。
③最寄りの指定避難所に行き「避難所登録票」を提出する。
④最寄りの指定避難所を確認し、トイレの場所を確認する。
⑤近くの人に安否情報（保険情報）を伝えておく。

刈谷市危機管理課　2023.12.20